

事業部

(1) 第67回徳島県小学校体操発表会 実施要項

① 目的

児童の基礎的な体力の向上を図るとともに、体操発表会出場の実験から学んだ運動のよさを、各自の学校生活のなかに生かすことによって、全校児童に運動への意欲・関心を一層高めることを目的とする。なお、本会は競技会形式をとらず、小学校体育学習の発表の場として実施する。

② 期 日 中央大会 令和5年 6月11日(日) 午前9時00分～午後13時30分
〔予備日 8月17日(木)〕

③ 会 場 中央大会 とくぎん トモニアリーナ (徳島市立体育館)
地方大会 郡市会場

④ 主 催 徳島県教育委員会、徳島県小学校体育連盟

⑤ 後 援 徳島市教育委員会、徳島県体操協会、徳島新聞社

⑥ 対 象 小学校4・5・6年生児童

⑦ 資 格 学校長が出場を認めたものであること。

⑧ 参加校

- ・地方大会は各校ごとに自由参加とする。
- ・中央大会は郡市ごとに3校以内の参加とし、郡市内で順番を決めて出場するのがよい。ただし体操種目に関してのみ、各郡市参加割り当て校以外の参加を認める。また、同じ郡市内であれば合同で出場してもよい。※複数校合同で行う場合の枠の使い方や時間の使い方、集団演技の行い方などは必ず事前に相談して決めておく。

⑨ 参加申込

- ・各郡市事業部長は中央大会参加校及び必要事項を所定用紙に記入の上、5月8日(月)までに、徳島市大松小学校 福本 陽平 宛に申し込むこと。また、参加校は5月17日(水)まで徳島市大松小学校 福本 陽平 宛に申し込むこと。

⑩ 種目及び出場規定

- ・児童は教師の監督、指導の下に出場すること。発表会という趣旨を踏まえ、安全に留意した演技構成で行うこと。
- ・各郡市で相談し、体操、マット、鉄棒、跳び箱の4種目の中から出場種目を決定する。
- ・演技順序は出場郡市の距離の遠近を考慮して決める。
- ・時間制限は、必ず守って実施する。
- ・各種目出場人数は10名以内とする。(体操を含む)
- ・規定演技は必ず実施すること。

ア 体 操

- ・演技場の広さは15m×15mとする。
- ・演技内容は各校の実態に合わせ創意工夫したものとし、動画配信サイト等で調べた振り付けをそのまま行わないようにする。
- ・練習(6分) → 演技校の紹介(1分) → 本番の演技(7分) → 講評(1分)
- ・手具やその他演技上必要な用具は認めるが、チームごとに準備する。
- ・手具の扱いについては十分安全に留意する。

イ マット運動

- ・マットはロングマット(6m×1.2m)を2枚用意する。
- ・練習(6分) → 演技校の紹介(1分) → 本番の演技(7分) → 講評(1分)
- ・内容は次のとおりとする。

- a 規定演技（必ず実施しなければならない技）
 - とび前転 → 側方とう立回転（2回） → 後転
 （またはロンダート） （または開脚後転，伸膝後転）
- b 自由演技・・・各人ごと，または各チームごとに自由とする。
難易度の高い技をする際には必ず補助ができるようにする。

ウ 鉄棒運動

- ・鉄棒の高さは，以下の通りとする。
 - 〔高鉄棒〕 2 m 2 0 c m
 - 〔低鉄棒〕 1 m 4 8 c m 1 m 3 8 c m 1 m 2 8 c m 1 m 1 8 c m の4か所
 - ※児童が体格に合った場を選ぶ
- ・練習（6分） → 演技校の紹介(1分) → 本番の演技(7分) → 講評(1分)
- ・内容は次のとおりとする。
 - a 規定演技（必ず実施しなければならない技）
 - 〔高鉄棒〕
逆上がり → 前方支持回転 → 後方支持回転 → 振りとび
 （懸垂逆上がり，ほんてん逆上がり） （棒下振り出しおり）
 - 〔低鉄棒〕
 膝掛け振り上がり → 前方片膝掛け回転 → 後方片膝掛け回転 → 転向前下り
 （逆上がり） （前方支持回転） （後方支持回転） （片足踏み越し下り）
 - b 自由演技・・・各人ごと，またはチームごとに自由とする。
 但し車輪，宙返りおりは禁止する。
- ・高鉄棒と低鉄棒のどちらにも出場してもよいが，演技中の移動は行わない。（同一選手が高・低ともに出場することはできない）
- ・講評は，それぞれの演技場所の役員から受ける。
- ・必ず教員が補助につく。高鉄棒と低鉄棒の両方に児童が出場する場合は，各1名ずつ（原則2名以上）の補助が必要。〔1名しかフロアに下りられない場合は，競技役員が代わって行う。〕

エ 跳び箱運動

- ・跳び箱は，大：幅 40cm 長さ 1 m 高さ 1 m （6段）
 小：幅 35cm 長さ 85cm 高さ 85cm （7段） とする。
 ※予備の【小】の跳び箱を使用し2台とも【小】にすることも可能。
- ・練習（6分） → 演技校の紹介(1分) → 本番の演技(7分) → 講評(1分)
- ・必ず教員が補助につく。※2台同時に使用する時は，1台につき1名で，2名の補助が必要
- ・踏切板は準備するが使用は自由とする。※各校から持ち込みも可
- ・跳び箱の配置及び移動は各校ごとに行う。
- ・内容は次のとおりとする。
 - a 規定演技（必ず実施しなければならない技）※技の順番は問わない。
 - ・かかえ込み跳び ・台上前転 ・開脚跳び
 - b 自由演技・・・各人ごと，または各チームごとに自由とする。
 複数の児童が連続で跳ぶ場合，十分に安全に留意し，前の児童が着地したことを確認してから次の児童がスタートするようにすること。
 ・児童は，行う技の名前を補助者に伝えてからスタートする。（練習時も同様）

⑪ 表彰

中央大会の出場校及び出場者に賞状を授与する。

⑫ 注意事項

- ・服装は運動可能な服装とするが，靴は運動靴を使用すること。（上・下靴を必ず区別する）
- ・当日，雨天の場合は濡れた雨具は，所定の袋に入れて，各自で管理すること。
- ・貴重品等の管理は各校ごとに責任を持つこと。
- ・観覧席ではマナーを守り，周りの人の迷惑にならないようにすること。
- ・演技前の練習では，規定演技・自由演技の技ともに行うことができる。※マットでは1つの技

だけを何度も練習することができる。

- ・ケガや事故のないよう十分配慮すること。万一ケガや事故が生じた時は各チームで適宜処理すること。
- ・時間を必ず厳守すること。演技残り時間が分かるように、本部席に大型タイマーを設置する。〔タイマーは、練習(6分) → 学校紹介(1分) → 演技(7分) → 講評(1分)の繰り返りでプログラムしている。〕
- ・演技校のあいさつは、進行係が次の演技校の紹介を行うので、その時に演技児童は一列に整列し、アナウンスに合わせて礼をすること。※声は出さない。
- ・観覧席は各校ごとに責任を持って後始末しておくこと。

⑬ 事務連絡

- 各郡市役員報告締め切り (5月 8日〔月〕 予定) . . . FAX または Email
- 各郡市参加校申し込み締め切り (5月 8日〔月〕 予定) . . . FAX または Email
- 参加校児童名申し込み締め切り (5月17日〔水〕 予定) . . . E-mail のみ
- 県小学校体操発表会参加申込書 当日持参